

# 蒲郡市中学生海外派遣研修 オーストラリアスタディツアー

蒲郡市教育文化振興会の中  
学生海外派遣研修は、昨年に  
続いてオーストラリアへの派  
遣。今年、初めての試みとし  
て、まず、九月二十二日から  
二十九日まで、オーストラリ  
ア・ビクトリア州、ブラック  
バーン・ハイスクールから十  
四人の訪日団を迎え、ホーム  
ステイや各中学校の訪問をし  
ました。そして一カ月後、十  
月二十四日に蒲郡から十四人  
の中学生がメルボルンへ出発  
し、ブラックバーン校で再会  
を果たし、四泊五日のホーム  
ステイを体験し、交流を深め  
ました。九日間のツアーで得  
た数々の体験から、最も心に  
残った事柄を紹介しましょう。



## シャイを脱いで国際人に

団長 大町忠久(三谷中学校長)

日本とオーストラリア両国の国歌の演奏で迎えられた歓迎会。日本古謡「さくら」も演奏された。オーストラリアの地、ブラックバーンハイスクールでの交流の第一歩が感激のうちに始まった。ホストファミリーの生徒との再会、そして十四人の生徒は持参した手作りの名刺を渡して「ナイストゥミーチュー、マイネームイズ…」と自己紹介。こうして友好親善ホームステイ研修へ。

生徒たちはホームステイについて「自分たちの不十分な英会話にもかかわらず家族の一員として温かく迎えられ、言葉がわかるまで熱心に聞いてくれたりする気配りがうれしかった」と口をそろえて言った。オーストラリアの人々の親切を身にしみて感じ、心温まる貴重な交流体験ができたことを誰もが報告している。

路面電車の走る緑の街、メルボルンのすばらしさ。九日間のこの研修を通して、海外の生活・文化・風土に対する理解を深め、国際感覚と豊かな心を育成するという目的が半分達成できたと思っている。後の半分は、この経験を活かして、いかにシャイな(恥ずかしがり屋)日本人の殻を脱ぎ捨て、国際人として行動



するかであると思う。

最後に、お世話になった関係各位ならびにオーストラリアの人々に厚くお礼を申し上げます。